

Ⅱ 実践編

3 はまっ子防災教室(中学生)試行

(1) 実施メニュー一覧

実施メニュー	概要	目安時間	備考
初期消火訓練	消火器や初期消火器具(スタンドパイプ式初期消火器具等)の使い方や重要性について説明します。	30分	参考リンク:よこはま防災e-パーク(動画) 子どもコース>はまっ子防災教室>初期消火器具の 取扱い方法 資機材:初期消火器具、訓練用消火器
消防の仕事	職業体験の主旨である消防の仕事について、火災などの災害を実際に経験している消防職員が伝えることで、消防の仕事をさらに身近に感じてもらえるように説明します。	10分~20分	参考リンク:よこはま防災e-パーク(動画) 子どもコース>お出かけ防災教室>消防の仕事
応急手当の訓練	AEDを使用した心肺蘇生法や消防車の搬送法など、災害時に必要な応急手当について説明します。	1時間	参考リンク:よこはま防災e-パーク(動画) 子どもコース>はまっ子防災教室>救急
119番通報要領	119番通報の体験を通じて、仕組みや重要性を説明します。	10分~20分	参考リンク:よこはま防災e-パーク(動画) 子どもコース>はまっ子防災教室>火災>119番通 報要領 資機材:119番通報装置(予防課貸出可能)
煙体験	火・煙のまわり方、状況に応じた避難の仕方について説明します。	10分~20分	参考リンク:よこはま防災e-パーク 子どもコース>はまっ子防災教室>火災>煙からの避 難 資機材:煙マシン、テント
地震体験	地震の揺れを体験し、とるべき避難行動や必要な備えを説明します。	20分~30分	資機材:起震車(デスクネットから予約) 横浜市民防災センター地震シュミレーター
防災に関する 基礎知識	「よこはま地震防災市民憲章」等について、自助・共助の考えのもと意識と行動に結びつけられるよう、災害時の行動や備えになどについて説明します。	20分	参考リンク:よこはま防災e-パーク(動画) 子どもコース>はまっ子防災教室>地震>各動画 参考教材: 防災よこはま(横浜市ホームページ) 、は まっ子防災ガイド(よこはま防災e-パーク掲載)

Ⅱ 実践編

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

(2) 説明要領

※ 参考例文になりますので、適宜修正してください。

例として「避難の仕方」について記載します。他の説明要領については、プログラム一覧を参考にしてください。

説明例文

みなさんこんにちは。〇〇消防署（消防出張所）の〇〇です。本日は、避難方法について説明します。よろしくお願いします。

火災は、激しい炎で一瞬にして大切な家や財産を灰にしてしまいます。そして、あなたや大切な家族の命をも奪ってしまいます。火災が発生した場合に、「とにかく早く避難行動を開始すること」が火災による負傷者、焼死者を出さないために大変重要です。いざという時に冷静な避難行動がとれるように避難方法について覚えておきましょう。

まず、火災で一番怖いのは炎というのは当然ですが、炎と共に恐ろしいのが煙です。火災で亡くなる方の大半は、煙を吸ったことで、逃げ遅れたことが原因なんです。煙の中には一酸化炭素が含まれていて、一酸化炭素を含む煙を大量に吸ったり、少量の煙でも一酸化炭素濃度が高い煙だと、一酸化炭素中毒になってしまいます。一酸化炭素中毒は、頭痛・めまい・吐き気など、軽い症状から始まり、症状が重くなると体の自由が効かなくなり、昏睡状態に陥り、最悪の場合死に至ることもある大変危険なものです。その上、火災での煙は、火によって高温になっているので、吸うことで気管や肺をやけどし、呼吸ができなくなることもあります。煙の危険性を理解できたところで、避難の仕方を覚えていきましょう。

火災によって出た煙は、空気より軽く、上方に広がり、天井から溜まっています。（煙が階段などを上にあがる速さは毎秒3m～5m、横に広がる速さは毎秒0.5m～1mです。）煙が部屋全体に充満する前であれば、姿勢を煙より低くすることで、視界を確保することができます。また、煙よりも低い姿勢を取ることで、視界の確保の他にも、煙を吸わないという点でも優れているので、避難の際には、煙の高さに応じた姿勢で、ハンカチやタオルで鼻と口を押さえて、避難を行いましょう。火災が起きた時は、目指す場所としては、まずは、屋外を目指しましょう。火や煙で屋外に逃げられない場合、窓やベランダなど、外気に触れられる場所で、救助を待ちます。また、一度安全な屋外に避難出来たら、貴重品などを忘れても、絶対に火災現場に戻らないでください。せっかく逃げる事が出来たのに、火災が起きている家に戻ったために、亡くなってしまった事例もあります。その他に、大切なこととしては、普段から避難経路を考えておくといいと思います。自宅であれば、玄関や窓、ベランダなど、できれば二方向以上、経路を考えておくといいでしょう。もしも外出先で火災に遭遇した場合、自宅と同じようにあらかじめ二方向以上の避難経路や誘導灯などを確認しておきましょう。火災が発生したら、館内放送や従業員の指示に従い、大きな持ち物などはあきらめて、避難を優先しましょう。実際に避難をする場合、従業員の誘導や誘導灯を頼りに避難し、エレベーターを使わない、地上に降りられない時は、燃えている区画の外まで避難し、それでも厳しいようであれば、外気に触れる場所で、救助を待ちましょう。

火災に巻き込まれたら、慌てず落ち着いて、行動するようにしましょう。以上で説明を終わります。ありがとうございました。

Ⅱ 実践編

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

(3) 参考資料

教材等	内容	備考
よこはま防災e-パーク (外部サイト)	動画やミニテストなどのデジタル教材により、防災について学ぶことができます。	参考リンク:よこはま防災e-パーク 子どもコース>はまっ子防災教室>各種動画
はまっ子防災ガイド	横浜市監修の「はまっ子防災ガイド」は襲ってくる災害に特化した内容で、3章から構成されていて各章を各学年で使用することで3年間使用できます。1、2年次は理科単元、3年次は道徳単元など、クロスカキュラムで防災が学べる仕組みになっています。	参考リンク: はまっ子防災プロジェクト (外部サイト) ※市内の公立中学校1年生に教育委員会を介して配布されます。 参考リンク: よこはま防災e-パーク ※子どもコース>はまっ子防災教室>学習資料からダウンロード可能
初期消火器具 (横浜市ホームページ)	初期消火器具の取扱いマニュアルや補助事業について記載しています。	参考リンク:参考リンク: 初期消火器具について
119番通報 (横浜市ホームページ)	119番通報のかけ方、LIVE映像通信システム(映像119)などについて記載しています。	参考リンク: 119番通報
火災からの避難 (横浜市ホームページ)	命を守るための避難行動のポイントを紹介しています。	参考リンク: 火災からの避難
応急手当の方法など (横浜市ホームページ)	AEDを使用した心肺蘇生法や消防車の搬送法など、災害時に必要な応急手当について記載しています。	参考リンク: 応急手当の方法など